

# 荒川区区政改革懇談会

## 第7回福祉・健康・子育て分科会 議事要旨

### 【日時】

12月6日(水) 10:00~12:00

### 【場所】

荒川区役所 3F 議員待遇者控室

### 【次第】

ステップ1：今日のプログラムの説明

ステップ3：次回の討議に向けた話し  
合い

ステップ2：「福祉・健康・子育てのあるべき姿」「今後の方向」についてのフリーディスカッション

ステップ4：その他

### ステップ1 今日のプログラムの説明

前回のディスカッションに引き続き「福祉・健康・子育てのあるべき姿」「具体的な提案」について話し合いの旨説明があった。

### ステップ2 「福祉・健康・子育てのあるべき姿」「今後の方向」のフリーディスカッション

- ・昨日、NHKで国民健康保険の問題を取り上げていた。国民健康保険の保険料を払わないから保険証を取り上げる、取り上げられるから病院に行けない、病院に行きたければ保険料を払えということであった。これは人間味のないシステムだと言わざるを得ない。いったい国民健康保険というのは全国一律のサービスレベルなのか。
- ・人間味のあるというのは病気になったら病院へいけるという意味で、100円しか持っていない人に10割負担だから1,000円を払え、それを払うために病院へいかずに無理して働くというのは土台無理な話なのである。
- ・その時は自治体として発行する資格証があるが、問題は払える能力がある人が払っていないケースで、家に帰れば車があったりするなど実態は非常に難しい。しかしながら本当に払えない人をどうするのか。
- ・所得を把握して支払えない人のチェックを厳しくして、どうしてもだめな人は生活保護を受けさせる。でも資産調査など厳しいチェックは反発を受けている。
- ・東京が変われば国も変わるという具合に、全国の市町村がイニシアチブをとってやらなければダメである。
- ・何の事業でも半分が国、4分の1は都や区で予算を出して下さいという状況。もちろん区の単独事業もあるが、近くの区が連携してやって行かねばならない。
- ・民間の生保と同じで徴収はガッチリで、支払いは渡る。現在、資格証の発行済み件数は1,110世帯(2.5%)で、半年有効の短期証は4,200世帯(9%)。保険料収入の予算上

は 60 億円。その中で 5 億円が払えない人の分で、中には払えるのに払わない人が結構いる状況である。

- ・今のシステムは独立採算制なので特別会計予算を組んでやっている。
- ・払えないのはかかった医療費が払えないのか、それとも国民健康保険料が払えないのか。金額はどのくらいなのか。
- ・保険料はおおよそ住民税の倍程度である。
- ・国保も年金もそうだが、必要な受けるべき金額を国が使ってしまっている。
- ・議会のチェックがあるはずだがそれをクリアしている。区としても厳しくチェックを行い、近接の区が提携しながら打開策を模索していく必要がある。しかしその根本は我々自身が議員を選ぶ時、誰を選ぶかであろう。
- ・人の暮らし方や子育てについて話すと、例えば自転車の乗り方など本来、基礎から教えていかねばならないと思う。
- ・くらしのパンフレットでも提案するといい。
- ・雨の中、歩道での人と人のすれ違い方、人との挨拶の仕方など。
- ・それこそ公共広告機構のように人の身のこなし方、江戸しぐさなども良いかもしれない。
- ・これらは各人が育てゆく中で身に付けていくもので、それをもし行政が介入するとなると大変気持ちが悪い。
- ・健康保険もそうで、もしも善意に考えたらこうなると分かるが、結局のところ根底の部分を教えることが欠けていると言わざるを得ない。
- ・福祉、医療、宗教などでビジネス効率だけを考えたとしても成り立たない。現状はともかく赤字にならないようにするだけだ。
- ・学校もそうで私立のやることを公立に全面的に求めるのは何か変だ。
- ・大学でも親のニーズに合わせなくてはならない時代になっており、これでは経営がもたなくなってきた。
- ・車椅子の話のだが、入手には介護保険法でなく自立支援法に基づいて今年 4 月から 1 割負担となった。その有料化に伴い他の支払い関係を極力抑えざるを得ないという非常に厳しい状況に追い込まれている。
- ・施設利用についてもそうで今まで土日に家に帰っていたが、自立支援法の施行のおかげで家に帰ってしまうと収入がなくなるので帰らないでほしいと言う。これでは目的が違ってきってしまう。
- ・緩和策は区独自で出来るのでその辺にも力を入れてほしい。
- ・資格証では診療は受けられない。
- ・荒川区の短期証は期限付きでちゃんとしていると思うが介護保険、障害者対応は都の対応いかんのところがあって、全国的ベースで、あるいは都内の市と区で見ると地域格差があるのは否めない。
- ・病気になったら病院へ行けるという当たり前の制度は何とか確保してほしい。例えばうつ病、精神面の病気だがこの精神面を強くすれば身体の病気もかかりにくくなる。
- ・病気の予防という観点でみるとまだ不満を持っている人が多く、これこそは地域で取り

組んで行くべきものとする。

- ・荒川区は福祉関係で半額負担があり特徴的ないい面を持っている。根幹をなす人間的なものをキッチリやっつけていけば、より大きいものができていくと確信する。
- ・警察、消防、医療を必要な人だけがお金を払うといった制度にすると、ただ乗りの人が出てくる。全員で負担してペイできるシステムが必要で、これが国家というものである。
- ・構造的なことを理解しなければ子育ても含めて困ってしまう。見えている部分だけで判断してしまうと、普通は払う気にはならなくなる。もっと言うと自分は払っているのに荒川区の一部を担っていると自負しているからこそものも言えるのだ。
- ・健康保険、福祉というのは、制度としてこういうことをしてくれているという場合は感謝され、逆に人間味のないことをしていると批判される。
- ・結局のところ制度として、たて割り行政で横割りでないのが弱点だ。
- ・例えばある人が生活保護担当課から言われて仕事の相談をすると、就労支援センターの係と生活保護の係が話し合いをしていないことがわかる。つまり連携をしていないということだ。
- ・横割りの話したがFBIシステムというのがある、これは部局を乗り越えて編成されたプロジェクトで障害者、失業者も入って活動している。
- ・議員・区の人・消費者という枠組みで区という行政制度があったらあらゆる面が変わっていくと思う。
- ・福祉・教育を地方に任せると国はどうか。実働は市区であるが抜本的に改めるとなるとやはり議員である。ところがその議員は選挙に焦点が行ってしまう。
- ・教育だが今、基本法を国会でいじっている。いじめはこのテーマなのか。
- ・荒川区では退職した校長・副校長を活用して教育委員会が「荒川区子どもの悩み 110 番」といういじめ問題の相談活動を実施している。
- ・それは携帯電話でも架けられるのか。
- ・フリーダイヤルで3時~22時までどこからでも、どういう方法でも大丈夫だ。内容はいろいろで恋愛相談もある。
- ・おとなのセクハラ対応などへのホットラインは現在のところはない。
- ・学校の先生だが今の教師は教師たる資格がなくなってきたと思う。
- ・それよりモラルがなくなってきた。最初は、からかいから入るが、そしてそれがいじめとなる。
- ・その前に今の公立校は負担が多すぎると思う。
- ・子どもの週休2日制について、はっきり言ってそんなに休んでどうするのか。
- ・おとなと同様に成果主義が持ち込まれて子どももストレスにさらされている。社会全体で弱いものにしわ寄せがきている。
- ・しかしながらストレス解消のためにこれから空き地を作ると言っても今すぐは無理な話で、結局子どもたちはストレスを抱え込むなり、いじめに走る。
- ・原体験での「トトロの話し」というのは遊び場で隠れ場所を発見したら、その数日後、今度はホームレスに取られてしまったというような本人にとって嫌な体験で、その体験

は強く記憶に残る。

- ・人間としてどう生きて、どう死んでいくのか判らなくなっている。
- ・空き地問題点も含めてもっと母親同士で議論が必要だと思う。
- ・やっぱり子どもは空き地で遊ぶのが一番と思う。
- ・そばに空き地があってもゲームの方が魅力的なので果たして来るか疑問。何らかの働きかけが必要だと思う。
- ・様々なことは子どもの時からの体験で身につくもので、もし行政にいくと途端に規制ばかりになる。
- ・あれはだめ、これはだめでなくもっと自由に、そしてできれば舗装なしがいい。
- ・ある事件があって箱入りプランコがなくなってしまった。多少の危険はあってもそれは経験だからかまわないと思うのだが。
- ・代々木のオリンピックセンター近くの広場では監視員はいるが余りうるさくなく、穴掘りしたりたき火したりできる場所がある。こういうのが荒川区にもほしい。
- ・江戸しぐさからじゃないが、50メートル置き位に番屋制度みたいなものを創るのも一つ。退職した人たちを配置したら不審者も一掃できて一石二鳥。
- ・あるイベントで年輩者と学生がボランティアで参加したが、一緒にすると学生のある一人が用あって呼ばれると他の人も付いていってしまうので、それを監視する人が必要であると云っていた。
- ・これは千葉県の話しかたけれど募金活動のボランティアの召集を掛けたところ、たくさん集まってしまった。それらが駅前のわずかな場所で一斉に歳末募金活動をしたものだから駅を降りてきた人たちにはどこへ寄付したらよいのか本当に困ってしまったという。

### ステップ3 次回の討議に向けた話し合い

- ・今年度は1月と2月の2回の開催を予定している。3月に提案する予定である。
- ・提言のたたき台を作成し、更に追加・削除しながらまとめていきたい。

### ステップ4 その他

- ・次回8回懇談会は、1月19日(金)10:00~

以上